

おもしろい！
あたらしい！
たのしい！

敦賀を ひろげる28人と 生まれた 4つのアイデア

回覧

2022年3月31日発刊

北陸新幹線
敦賀開業まで、
あと2年！



いよいよイベントを実行！2月末～3月中旬にかけて、4つのイベントを行いました！さらに、3月19日には最終発表会を開催。様々な方をお呼びして、半年間（計6回）のワークショップや実施したイベントを振り返るとともに、今後さらに取り組んでいきたいことを発表しました。

やさSEA ～つくりろ 癒しのシーサイド～ team 03



金ヶ崎緑地休憩所で癒しの空間づくり。抹茶やマッサージでもおもてなし



テーマは「癒し」。金ヶ崎緑地休憩所（旧ムゼウム）で、ノンアルコールバー、あんま屋、Freeテント、抹茶体験のブースを出展しました。この日は天気も良く、イベント当日は招待客以外にも多くの方が訪れ、それぞれのブースと敦賀の海が見渡せる景色を楽しんでくれました。みなさんに癒しの時間をお届けできたのではないかと思います。イベントでは各々が自分のやりたいことをやりつつも、「癒しの空間を作る」という共通のテーマを実現することが出来たのが良かったです。来ていただいた方からも多くの感想・コメントをもらうことができました。これからの活動にも活かしていきたいです。

Conext ～駅と港をつなぎ隊～ team 04



幻想的な「影絵」。敦賀市内をアートでつなぐ第一歩

「アートで街の魅力を繋ぎ、人と人を繋ぎたい」という想いで集まった私たちのチーム。駅前商店街から金ヶ崎緑地までの道を影絵で彩ることで沢山のの人に敦賀の魅力に触れてもらうことを目指していきます。

初めの一歩として、みんなで影絵を作ってみる「かげえアートトライアル」を開催しました。子どもも大人も夢中になって影絵を制作しているのが印象的で、完成した作品を鑑賞する時には幻想的な空間に参加者全員で浸っていました。将来的には影絵を商店街のシャッターや道に映射したいと思っています。

haco-bu team 01



廃校・廃ビルを活用。みんなのやりたいことを持続的に

「現在は利用されていない『箱』資源を利用し、再びスポットを当てる」をテーマに、イベントを企画しました。「官民どちらの資源でも、持続可能な利用ができること」も大事に考え、チームメンバーそれぞれが、やりたいことを持ち寄りイベントを開催。コロナ禍の開催ということもあり、感染対策は十分に行い、短時間・ノンアルコール・マスク着用を徹底しながら、12月には敦賀北小学校を利用してクリスマスパーティー、3月にエッグプラントビルを利用して「スナックみやもと」と称して合計2回開催しました。

ザ・ゼロイチフューチャーズ team 02

カレーに謎解きゲーム。子どもも大人も楽しめる「おてラボ」

テーマは「人と人との繋がりを大切にしたい」という想いで集まった私たちのチーム。駅前商店街から金ヶ崎緑地までの道を影絵で彩ることで沢山のの人に敦賀の魅力に触れてもらうことを目指していきます。

第1弾として本勝寺さんに協力いただき、子ども達がカレーを作り、家族に振る舞う「おてラボ」を計画しました。ただ、コロナ禍のためチームメンバーのみでイベントとして実施。カレーはオリジナルの「ヴィーガンカレー」を作り、ヘルシーで満足感のある自慢の一品に。また、レクリエーションも「謎解きゲーム」や「カレーをネタにした漫才」などを披露し、本番に向けての準備を進めました。コロナの状況を見ながら、まずは第1弾をしっかりと実施し、このイベントが新しい居場所や新しい敦賀の魅力になるように取り組んでいきます。

敦賀を盛り上げ、敦賀の魅力を発信する

敦賀をひろげるプロジェクト

STEP 1

チーム作り

参加者は大学生や会社員、商店街でお店をされている方、お笑い芸人などなど。年齢も20代から80代まで多種多様。敦賀に住む・働く多様な方が所属を超えて、学校の同級生やサークルの仲間のようにフラットに繋がる4つのチームが生まれました。



STEP 2

アイデア検討

新幹線開業をきっかけに「敦賀をこんな街にしたい」「こんな魅力を発信したい」など、自由にアイデアを出し合い、チームで検討を重ねました。ときにはみんなで敦賀市内をフィールドワークし、敦賀の魅力を見つめ直しました。

2024年春の北陸新幹線敦賀開業に向けて、敦賀を盛り上げ敦賀の魅力を発信する取り組みです。敦賀に住む・働く多様な方が所属を超えて、学校の同級生やサークルの仲間のようにフラットに繋がりがながら、2021年9月から半年間かけて「敦賀をこんな街にしたい」「こんなことできたら面白そう」というアイデアを持ち寄り、それぞれの得意分野を活かして、街づくりに挑戦してきました。

STEP 3

ノウハウ学習

イベント実行に向けて、街づくりの専門家を招いての講義を行いました。カードゲームを使って遊びながら学んだり、参加者同士で教え合ったり。また、市内の多様な方をお招きして、公開型のワークショップも開催しました。各チームの企画に、様々なアイデアやフィードバックをいただきました。



私は敦賀生まれ敦賀市育ちで、地元をより魅力的にするためのまちづくりがしたいという思いがありました。しかし、自分ではこうしたいという思いがあっても、敦賀に住んでいる他の方の思いを直接聞く機会はこれまでありませんでした。半年間のワークショップの中で、参加者の皆さんと意見交換を行い敦賀の魅力について改めて見つめ直すことができました。また、自分と似た意見を持つ方々と一緒に行ったイベントの企画・運営を通して、自分の特技である茶道を活かしたまちづくりができました。貴重な機会を頂きありがとうございました。



やさSEA ~つくり癒しのシーサイド~
福井大学
多賀 結唯



今回のプロジェクトキックオフイベントの際に、参加者の方々それぞれが敦賀を愛し、街をより良くしたいと考える人がこんなにもたくさん敦賀にはいらっしゃるということに私は驚き、その気持ちは参加者皆さんが感じたのではないかと思います。

ワークショップでは所属・スタイルなど様々で意見も多種多様でした。最初こそ意見がまとまるのか心配な部分もありましたが、ワークショップが進むにつれ「敦賀を魅力的にしたい」という共通のゴールの中でどんどん形になっていく過程はとても新鮮で有意義な体験でした。

プロジェクトを通じ、まだまだ敦賀には人・物・歴史などたくさんの「資源」が眠っているということを改めて実感しました。今回のプロジェクトで終わることなく、この眠っている資源に再びスポットを当てることができるような活動を私は続けていきたいです。



haco-bu
日章土地
熊谷 航

敦賀をひろげるプロジェクト

就職を機に暮らすことになった敦賀のことを「もっと知りたい」と思ってこのプロジェクトに参加しました。

この半年間で、今まで見つけられなかった敦賀の魅力をたくさん発見できていると同時に、参加者の方との出会いも自分の敦賀ライフを豊かなものにしていて感じます。

敦賀市民になってまだ2年の敦賀ビギナーですが、このプロジェクトで発見できた敦賀の素敵なところを敦賀市内の方にも市外の方にも伝えていけるようになりたいと思います。



Conext
ジャクエツ
高津 友美

参加してみてどうでしたか？

私たちは、県外に出た友人が「また敦賀に帰ってきたい」、県外から敦賀を訪れる人たちに「こんなに素敵なおところがあるんだ」と感じてもらえるような街にしたいと思い、参加しました。

今回、本勝寺をお借りして「おてらボ vol.0」というイベントを開催しました。様々な方との繋がりや熱い思いが形になり、新たな発見や、今後の敦賀の発展への第1歩となりました。改めて、人と人との繋がり大切さを感じました。



ザ・ゼロイチフューチャーズ
敦賀信用金庫
藤田 真衣



ザ・ゼロイチフューチャーズ
敦賀信用金庫
松木 ひろ香

自分が楽しむ、それを見た人が嬉しくなる、そしてプレイヤー・サポーターが増えていく、そんな幸せの循環で敦賀は皆が愛する街になっていく。メンバーの話聞いてなんとなくそんな言葉が浮かびました。そこにはまず人ありき。誰がするかがすごく大切だと思います。皆さんの想いや活動を伺うことでますますそれを実感しました。このプロジェクトがこれからどんな風に進んでいくのか本当に楽しみです。一緒に敦賀を楽しみましょう！

敦賀市 タウンマネジャー 阿部 俊二

応援コメントも
いただきました！

新幹線が開業したとき、どうしたら人を呼べる？敦賀の魅力は？それをどうやって発信する？これらの問いに対し、市内の盛り上がり大切だと考え、始めたこのプロジェクト。皆さんの姿を見ながら、敦賀の魅力は「人」であり、皆さんの「活動」そのものが魅力の発信に繋がると確信しております。プロジェクトをきっかけに、「人」の輪が広がり、誰もが訪れたいような街になれば素敵ですね。そんな遠くない未来を思い描きながら、まずは一歩ずつ積み重ねていってください。引き続き全力でサポートします！

敦賀市 新幹線誘客課 上野 恭輔